

「モラリスト×エキスパート」を育む。

立正大学

ALSを発症してから、暗い泥沼のような道を歩き続けた  
今、私は日の当たる道を歩いています

ALS講演会

命ある限り道は拓かれる

## 船後 靖彦

株式会社アース取締役副社長

1957（昭和 32）年生まれ。専門商社の営業マンであった41歳の時に全身の筋肉が急激に委縮する難病、ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症。絶望の淵から這い上がり、人工呼吸器と胃ろうを装着。歯で噛むセンサーを使ってコンピューターを操作し、執筆・創作活動、講演活動に取り組む。現在、看護・介護サービス事業を展開する株式会社アースの取締役副社長を務めるほか、都内大学の非常勤講師なども務める。

### ◆吉崎さとしミニコンサート

“歌う！まつど観光大使”として千葉県を中心に活動するシンガーソングライター・吉崎さとし氏が、船後氏作詞の歌を披露。

日時：11月28日（土）

12:20～14:20

場所：立正大学品川キャンパス

11号館 1151教室

（JR五反田駅・JR大崎駅より徒歩5分）

＊事前予約不要・入場無料

＊駐車場はございません。

車椅子等の方は下記までご相談ください。



お問い合わせ：itpsl@ris.ac.jp

（担当・立正大学文学部哲学科教授 田坂さつき）

主催：立正大学「現代における自由意志の問題」研究会

共催：立正大学文学部哲学科

＊この講演会は、科学研究費助成事業の研究活動の一環です。

